

防災だより

令和4年12月1日（木）

文責 曾根 奈緒



——丘小防災への取り組みを発信していきます！——

次年度から始まる「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」を受けて、学校内外での防災訓練の様子や、各学年での取り組み、事業そのものの具体的な内容（提案事項）など、先生方はもちろん、保護者の方や地域の方にも、分かりやすく、スピーディーにお伝えしていけたらと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度合同防災訓練が行われました。

去る11月19日（土）に富ヶ丘（南部町内会）地区と上桜木地区合同で地域防災訓練が行われました。震度6弱の激しい揺れを観測し、一時避難所である町内会会館から指定避難所である富ヶ丘小学校体育館まで避難し、避難所の開設及び受け入れ訓練を行う内容で実施されました。

避難所を開設後には、救急救命士の方から応急処置についての講習をもらいました。「単独で傷病者を搬送する方法」や、「骨折時に身近な物で応急処置をする内容」など、災害時に限らず、学校現場や思いがけない事故現場に遭遇した時でも参考になる内容が多く感じられました。

初めての防災訓練ということもあり、事前準備をしっかりと行い、当日はブルーシートの区割りや受付所の設置など、地域の方々が中心となって訓練を実施しました。富ヶ丘小学校の体育館を避難所として開設する際には、防災マニュアルを見直し、私たち教職員が先導しながら開設を進める必要性も感じました。



防災教室で学びました。（5年生）

11月22日に不二が丘小学校の荒明校長先生をお招きして、5年生の防災教室を行いました。子供たちが体育館へ集まると手作りの博士帽を被り、東日本大震災の教訓を「自然防災に学ぶ」と題して170枚のスライドを使いながら、分かりやすく話をいただきました。

スライドの中には、【「問い」ストーリー】と題した10問の問題が…。

「おしよせた津波の高さは何メートルだったの？」「助けてもらうために書いた言葉は何？」など、児童それぞれが参加しながら、震災についての大切な知識を身に付ける貴重な機会となりました。

